安全管理室だより

11月号

Vol.106

すべての医療に「正しい患者さん」から！

患者確認の徹底をお願いします！

患者さんに安全・安心な医療を提供するために、私たち一人ひとりが確認を徹底しましょう！

なぜ大切？

患者確認は、医療事故を防ぐための基本であり、最も重要な安全行動です。
「思い込み」や「うっかり」を防ぎ、患者さんを守る第一歩になります。



患者確認の3つのポイント

1 確認するタイミング

- 医療行為の前
- 与薬・注射の前
- 検査・処置の前
- 食事・移送・配膳の前
- 入退院時・転棟時



2 確認する項目

原則、2つ以上の患者情報で確認します。



フルネーム
お名前を名乗っていただく



生年月日
生年月日を確認する



患者IDなど
診察券・リストバンド・カルテ等で確認する

※状況に応じて柔軟に実施します

3 確認のしかた

- 患者さんに声をかける
- ご本人からお名前を名乗っていただく
- リストバンドやカルテで照合する
- 確認した内容を復唱する



こんな確認はNGです！

✖ ベッド番号だけでの確認



✖ 思い込みでの確認



✖ 家族や付き添いの方への確認だけ



✖ 小さな声や早口での確認



～利用者様の思いに寄り添い、安全を守った GoodJob～

早朝、職員が出勤すると、3階でエレベーターのボタンを押している利用者様(離院既往歴あり)を発見。「どうしましたか」と声掛けると、「セブンイレブンに行く」との返答あり、離院の可能性があると判断、「まだ朝早いので、後でいきましょう」とお話しをして一緒に病棟に戻る対応をした。見守りを強化し、今後は定期的に外出の機会を設け、気分転換を図ることにした。

考　察

職員の早期の気づきと適切な声掛けにより、離院を未然に防ぐことができました。セーフティⅡの視点では「なぜ安全に対応できたのか」という成功要因に着目する事が大切です。今回の事例は職員の観察力と柔軟な対応に加え、利用者様の思いを尊重した支援につなげた好事例です。このようなGoodJobを共有し、日々のケアにつなげていきましょう。